



運動会の練習、頑張っています

運動会に向けて、ゆうぎやバルーン、マーチングや組体操等に張り切って取り組んでいます。「前のひまわり組さんも、マーチングをしてたんだよね」と、昨年の子長児への憧れから”今度は自分達がやるんだ”と、やる気満々のひまわり組のお友達です。「最後の所は桜島の噴火のように高くあげるぞ。」と、ちゅうりっぷ組さんもバルーンの練習に汗を流しています。もも・たんぽぽ組さんは、かわいいゆうぎを一生懸命覚えています。当日は可愛い衣装も着る予定です。

運動会練習では、諦めずに何度も挑戦する気持ちや、友達と気持ちを合わせることを学んだり、達成感や負ける悔しさも感じる経験をしたりしています。いろいろな経験を通して、子ども達の顔つきが凛々しくなってきたように感じます。子ども達の持つ力を全部出し切れるように、気持ちを盛り上げていきたいと思えます。

運動会まであと数日となりました。子ども達の「かっこいいところを見てほしい」という気持ちを盛り上げ、当日できるだけ多くの輝く笑顔をお見せできればと思っています。もしかして、緊張していつもの姿が出せないこともあるかもしれませんが、毎日一生懸命取り組んできた子ども達を、温かく見守っていただけたらと思えます。そして頑張った子ども達をいっぱい褒めて、抱きしめてあげてください。



子どもたち同様、私(園長)も運動会当日を楽しみにしながらも緊張して待っている一人です。その訳は、ちゅうりっぷ組さんのバルーンに助っ人で参加することになりました。膨らませたり、中に隠れたり、顔を出したりと色んなタイミングを間違えないように必死です。近くにいる子どもたちと助け合って頑張ろうと思えます。

【保育信条：尊いみ教えを聞いて ほとけの子を育てます】

10月の主題

聞法(もんぼう)=よくききます



「耳は二つ、口は一つ」という言葉があります。当然のことを言っているだけに過ぎないのですが、日頃私たちは二つの耳を持って生まれていながら、つい一つの方の口を先に立てて、聞くことよりも自分の主張を押し通そうとしてしまうことがしばしばあります。おそらくこの言葉の意図は、よくよく人の話に耳を傾けてからものを言うことの大切さを私たちに語りかけているのだと思われます。今月は、子どもたちによく理解できる言葉で、そしてくつろいだ雰囲気の中で、興味と感心のある物語やお話をするを通して、「聞く」ということの大切さが自然と身に付くように、それと同時に子どもたちの言葉に、そして声なき声にも耳を傾けながら、日々の保育を進めていきたいと思ひます。

油断せず、新型コロナウイルス感染症感染防止の徹底を

まん延防止等重点措置の効果でしょうか、県内における新規感染者数も減少してきました。しかし、まだまだ油断は禁物です。園でもしばらくは、感染防止対策を継続していきたいと考えておりますので、ご家庭においても感染防止対策をよろしくお願ひします。

また、お子様の登園前には、これまでの様に必ず検温をしていただき、体調がすぐれない時は、登園を控えるようお願い致します。また、お子様が、園にて体調不良となった場合、連絡をさせていただきますので、すぐに連絡のつくようご配慮お願ひいたします。

デルタ株がまん延してからは誰が感染してもおかしくはないと言われています。感染された方やそのご家族、濃厚接触者は、病気に対する不安や恐怖、誹謗中傷や偏見に対する不安や恐怖を感じながら過ごしておられると聞きます。このような時こそ人権に配慮し、誹謗中傷につながらないようにすることが重要です。もし、身の回りに感染者が出た場合は、安心して療養できるよう応援していくことが大切であると思ひます。

そこで、コロナウイルスに関することは、保護者や園児のプライバシー等の拡散を防いだり、その結果に対する対応を判断したりする等のことからこれまでと同じく窓口を「園長」に一本化します。ご協力よろしくお願ひします。

